

考えよう！親密な人間関係

2月14日、バレンタインデーです。チョコレート業界の戦略も見え隠れしますが、起源はローマ帝国時代にさかのぼるようです。最近では性別にかかわらず贈り物をしたり、感謝の気持ちを伝える機会とされることもあります。

今月は、バレンタインデーにちなんで恋愛周辺について考えてみましょう。

恋愛の自由～バレンタインデーの起源～

ローマ帝国の最盛期、皇帝クラウディウス2世の強兵政策により兵士の自由な結婚が禁止されていました。それに異を唱え結婚をサポートしたのが聖ウァレンティヌスです。多くのカップルを結婚させることができた彼ですが、皇帝の不興を買い2月14日に処刑されてしまいました。20世紀に入り、この故事が基になり「愛の告白をする日」となったようです。

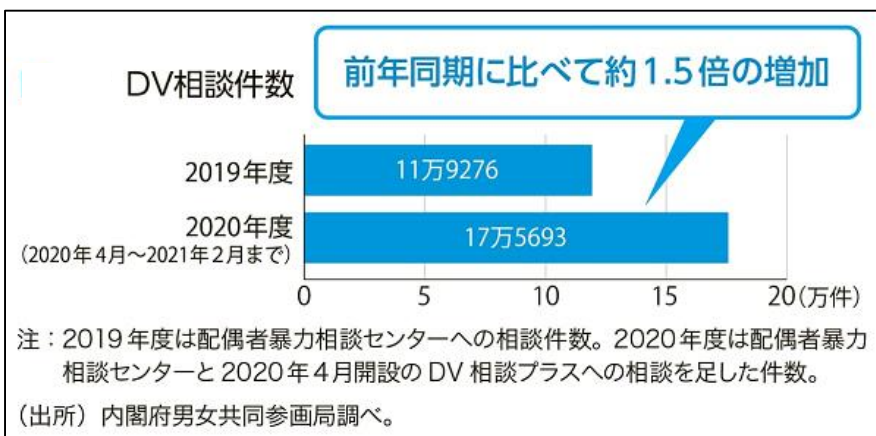


聖 ウァレンティヌス

デートDV に注意

コロナ禍の影響もあり、家庭内暴力（DV）が増えているとの調査結果があります。関連して「デートDV」と言われる男女交際における暴力も問題となっています。身体的な暴力だけではなく、嫉妬に燃えて相手を束縛するなど精神的な暴力も含まれます。また、高額な金品を要求するといった経済的な暴力もあります。

パートナーの言動に疑問を感じた場合、できれば「嫌だ」といった意思表示を明確にしてみましょう。伝えるのが難しい、言っても伝わらない、といった場合は第三者に相談しましょう。スクールカウンセラーも一緒に対応方法を考えますので、相談相手の候補に入れておいてくださいね。



学生相談室は 春休み期間中※も開室！

月・木・金（いずれも12時30分～17時30分）

保護者の皆様からのご相談もお受けしています

※令和5年2月22日（水）～3月31日（金）

多様な性～LGBTQ～

恋愛関係にかぎらず、親しい友人との親密さに悩むことはありませんか？思春期には「もっと仲良くなりたい」「告白するかどうか」のような悩みがよくあります。たとえば「私はこんなに好きなのに！なんでわかってくれないのか」といった思いをしたことはありませんか？ここでは、そういった思いを整理するとき参考になるかもしれない視点を紹介します。

人間の性は「身体の性」「心の性」「好きになる性」「表現する性」のように分けることができます。そのバランスは人それぞれです（下図参照）。

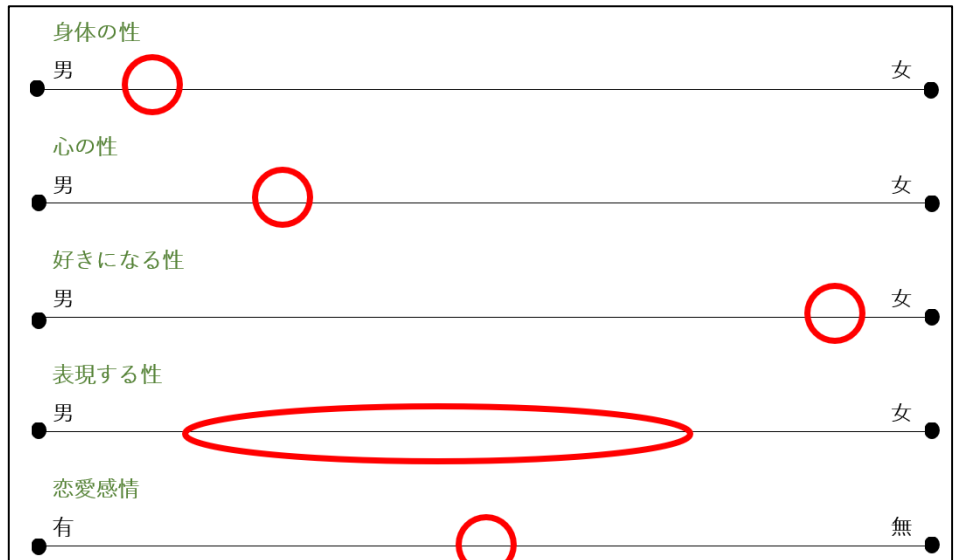
「好きになる性」を考えてみましょう。どのような人をどの程度好きになるのかは、個人差があります。また、恋愛感情の持ち方にも個人差があり、いつでも自分の愛の大きさと同じだけ他者からも愛が返ってくるとは限りません。

こうした違いであったり、愛情表現の仕方やバランスを、パートナーとの交際関係や親しい友人との関係の中で気づき、整えていければと思います。

性のとらえ方には様々な視点があります。柔軟にとらえ、様々なあり方があることを知ってください。

（図の赤丸は一例です。あなたの傾向はどのようになりますか？）

参考：【LGBTは4種類じゃない】セクシュアリティやSOGIハラスメントの意味も。-オクユイカ。(sabaoku.com)



恋愛に関する統計～

10～20代では出会ってから交際に至るまで約2か月程度、デートは3回程度を経てから正式なお付き合いに発展することが多いようです。

また、ある企業の調査によると、交際を開始した月で多いのは4月、8月となっているようです（株式会社オーネット、2018）。焦って言葉で気持ちを伝えなくとも、時間をかけて態度で好意を伝えていくことができれば、より安定した関係を築くことができるかもしれませんね。

< 豊田工業高等専門学校 学生相談室 >

電話：0565-36-5844（保健室） メール：soudan@toyota-ct.ac.jp

カウンセラー：原賀学（月～木）、都築有紀子（木・金）

相談時間：12時30分～17時30分

相談場所：福利厚生会館1階保健室の相談室、2階の相談室